

# タブレット活用レシピ集



## 5学年版

5年生 国語科	単元（活動名）	和の文化について調べよう	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
  - ・ いろいろな本や資料を，目的を意識して読む。
  - ・ 伝えたい内容や目的に合わせて，資料を活用して説明する。

- 利用する機能等
  - ・ ジャストスマイルクラス<カード>

●活用の流れ

①「和の文化を受けつぐ」を読み，内容を理解する。

②説明会に向けて，グループのテーマを決め，調べる計画を立てる。

③情報を集める。  
 ・ 資料を読んで，ワークシートにまとめる。  
 ・ 説明で使う資料を選び，カードのカメラ機能で撮影する。必要に応じて簡単な加工をする。

④説明会の準備をする。  
 ・ 集めた情報を観点ごとに整理したり，資料を選んだりする。  
 ・ グループで，説明の組み合わせを考える。  
 ・ ジャストスマイルクラスのカード機能を使い，発表の資料を並べる。

⑤発表の練習をする。

⑥発表会を開く。  
 タブレットとTVをつなげて，資料を提示しながら説明する。



①資料を整理（入れ替えも簡単）



②資料の加工（トリミングなど）もすぐできる

●教師の働き掛けや児童の様子

★使いたい資料を本から直接カメラで撮影でき，保存できるため，自分たちで資料の準備ができる。資料の加工（トリミングなど）や変更も容易にできる。接写も可能。また，集めた資料の順番も入れ替え可能。

★説明会では，「さいせい」ボタンでプレゼン画面に切り替わり，カラーで資料を拡大提示できるため，説明と資料を効果的に発表することができる。

●本レシピのワンポイントアドバイス

資料の効率的な活用と発表時の効果的な提示

資料を使った発表会の指導では，資料が小さかったりカラーでは準備できなかったりすることが多く，子どもが選んだ資料を教師が印刷することになる。しかし，タブレットのカード機能を使い，「カメラ」ボタンで写真を取り込めば，子ども自身で必要な資料をカラーですぐ用意できる。また，取り込んだ資料を，画面上で順番に並べることができ，話し合いながら資料を整理できる。説明会場面では，TVとつなげば「さいせい」ボタンで拡大して効果的に提示できる。

★実践した感想

5年生 国語科	単元（活動名）	和の文化について調べよう	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
  - ・ 資料を提示しながら、和の文化について調べたことを発表する。
- 利用する機能等
  - ・ ジャストスマイルクラス<カード・はっぴょう名人・授業支援ソフト>
- 活用の流れ

単元 全13時間

- ① 教材文を読み、内容を捉える。（4時間）
- ② 発表するものを決め、図書資料・インターネットを活用して調べる。（3時間）
- ③ 発表の構成を考える。（1時間）
  - ・ 伝えたい内容
  - ・ 必要な資料
- ④ 構成に基づいて、資料を作成する。（4時間）
  - ・ はっぴょう名人かカードを選択する。
  - ・ 発表に必要な資料を集める。
  - ・ 資料を作成する。
  - ・ 話すことを考え、メモにまとめる。
- ⑤ 発表会をする。
  - ・ タブレットを操作し、資料を写しながら発表する。
  - ・ 感想を伝え合う。



④ 資料を作成する



⑤ 発表会をする

※カードの作り方は別に1時間を使って指導した。

### ●教師の働き掛けや児童の様子

- ☆カードやプレゼンの機能を使うことで、聞き手を意識して必要な資料を絞り込むことができた。
- ☆資料を写して終わりではなく、分かりやすく伝えるために言葉の意味を調べたり、短く要約したりする姿が見られた。

### ●本レシピのワンポイントアドバイス

#### 画像の取り込みはタッチペンで簡単

画像の取り込みをしたグループが多かった。タッチペンを使うと操作性がよく、簡単に取り込むことができる。取り込み方は資料作成の時間の中で指導した。資料を作る過程で操作に慣れ、活用していた。

#### ★実践した感想

5年生 国語科	単元（活動名）	「手塚治虫」	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
  - ・ ① 子どもの思考の補足資料として
  - ・ ② 互いの考えの異同を比べたり分類したりするため
- 利用する機能等
  - ・ ① 手塚治虫公式webページ <http://tezukaosamu.net/jp/>
  - ・ ② ジャストスマイルクラス「配る・集める」

●活用の流れ

- ①戦争時代の様子を知る補足資料として「手塚治虫公式webページ」の「年表」や「手塚治虫と戦争」のページをみる。
- ②4つの場面のうち、中学校時代について教科書をもとに個で「この場面での手塚治虫のすごいところ」を考えをまとめる。（ノートに）
- ③ワークシートを配布し、班の考えを検討しワークシートにまとめる。（【くぼる】）
- ④発表の後、考えを分類し、学級のまとめをする。（【あつめる・くらべる】）

●教師の働き掛けや児童の様子

○初めのうちは、操作に時間がかかったり、操作を譲り合ったりする様子も見られたが、繰り返し使用するうちに、操作にも慣れ、上手に意見交流する姿が見られるようになってきた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

- ・ webページを開かせる際は、アドレスなどを配布しておくといと思います。
- ・ ホワイトボードと同じようにグループやペアで考えたり、考えを交流したりする際は有効に活用できる。また、教師側でワークシートを準備し配布すると、その上から自由に記入することができます。説明文単元の画像など、使用の可能性はもっと広がると思います。
- ・ 当校は児童が使用できるタブレットは5台しかありませんが、大型テレビに映して比較するには、このくらいの台数だと都合はよいです。

★実践memo

5年生 書写	単元（活動名）	書写	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
  - ・お手本と自分の作品を比較し、赤ペンで修正することを通して、次回の目標を立てることができる。
- 利用する機能等
  - ・ジャストスマイルクラス（カメラ・くらべる）
  - ・大型テレビもしくは、プロジェクター

●活用の流れ

- ①カメラ機能で、自分の作品の写真を撮る。
- ②くらべる機能で、お手本と自分の作品を並べる。
- ③グループで、太さや中心等を話し合い、赤ペンで修正する。
- ④印刷をし、次回の目標を立てる。
- ⑤全体の共通課題については、大型テレビで写して指導する。



児童が添削している様子

※次回は、本時の作品と比較させることを通して、改善したかを確認する。



添削内容

●教師の働き掛けや児童の様子

- 児童の感想（実物の用紙とタブレットを比較して）
- お手本と自分の作品と一緒に見ることができるので比べやすい。
  - 何回も書き直しができるから便利。
  - ×画面が小さいので、たくさん書くことができない。

●本レシピのワンポイントアドバイス

個人の作品をデータで保存しておき、1年の学習の学びをいつでも振り返ることができる利点がある。

★実践した感想



5年生 社会	単元（活動名）	工業生産を支える人々（自動車会社の環境対策を調べよう）	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

●目的

- ・ 環境にやさしい自動車づくりについて、日本の自動車会社における実際の取組を知る

●利用する機能等

- ・ ブラウザソフト（インターネットエクスプローラーなど）

●活用の流れ

- ①見せたいページのショートカットを作り、1つのフォルダにまとめて入れる。
- ②ショートカットを集めたフォルダをマイクロSDにコピーする。それをタブレットにセットする。
- ③タブレットの電源を入れ、作成したフォルダをデスクトップ画面にコピーしておく。
- ④教科書や資料集を基に「自動車会社の環境対策」の学習を行う。
- ⑤児童のグループ1つにタブレット1台を配布する。
- ⑥「実際の自動車会社の環境への取組」について、グループで協力してタブレットで調べるように指示する。



使用サイト

- 【MAZDA】マツダキッズミュージアム | マツダのクルマづくり
- JAMA - 小学生のためのよくわかる自動車百科
- TOYOTA～クルマこどもサイト～
- クルマづくりなんでもQ&A 日産探検隊 ようこそ、日産の工場へ
- 三菱自動車の取り組み 環境への取り組み こどもクルマミュージアム

●教師の働き掛けや児童の様子

★最初は教師が操作し、やり方を簡単に説明する。あらかじめ、子供に見てほしいページをピックアップしてあるので、短時間でいろいろな自動車会社のHPを見ることができ、実際に行われている自動車会社の環境対策について知ることができた。やはり実際の自動車会社が行っていることにはインパクトがあるのか、子どもたちは、食い入るようにタブレット画面を見ていた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

あらかじめショートカットを作っておくので操作は困らないかと思いましたが、実際はタブレットが勝手に再起動したり、画面を間違えて隠してしまったりするトラブルがやはり起きました。ショートカットを作っておくことで、自分で事前にいろいろタブレットを動かしてみて、操作に慣れておくことを強くお勧めします。今回は、9台のタブレットを使用しましたが、教師用として1台別に準備しておくことさらに安心です。

★実践memo

5年生 社会科	単元（活動名）	くらしを支える情報	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

●目的 ・挿絵の中にどんな「情報」があるかを見付ける。

●利用する機能等

- ・ジャストスマイルクラス
- ・

●活用の流れ

・教師がスキャナで取った挿絵の画像を、配布機能でグループに配る。

・お絵かきを使って、見つけた情報の部分を赤で囲む。

・作業した画面を、テレビに映し、見つけた「情報」を検証する。

※教科書の挿絵はカットしてあります



●教師の働き掛けや児童の様子

※ 実際に授業ではやっていません。授業後に、このように活用することもできるかなと思い、シミュレーションをしてみました。お絵かきの画面に絵が収まらないので、スクロールしながら作業させることとなります。また、絵を収める大きさに縮小すると、挿絵が小さくなり、作業がしにくくなります。

●本レシピのワンポイントアドバイス

- ①あらかじめ教師が用意した写真を、教師機に入れておく。
- ②授業支援の「配付」を使ってグループに配付する。
- ③ペイントで写真を出してもらおうが、この時に、作業時の注意点をしっかりと伝える。  
(画面の大きさの変え方、スクロールの仕方、線の色や太さの変え方、間違えたときの戻し方)

★実践memo

5年生 社会科	単元（活動名）	調べ学習ツールとして	
	タブレット端末 活用の形態	ペアで1台	

- 目的
  - ・調べ活動，伝える活動の際，教科書や本などに並ぶツールの一つとして選択，活用する
- 利用する機能等
  - ・インターネット機能
  - ・画像表示機能

### ●活用の流れ

<例>

- 1, 活動の説明 等
- 2, 課題追及  
 班のメンバーで協働し，教科書，資料集，書籍，  
 タブレット端末等を活用し，情報収集をする。  
 集めた情報をノートや班のホワイトボードなどに  
 まとめる。
- 3, 追求結果を他の班のメンバーに説明  
 資料を示しながら，他の班のメンバーに説明す  
 る。

※調べ学習の際，教科書，資料集，本などとともに，調べるツールとしてタブレット端末を利用します。また，他者に伝える際の資料として見せることもできます。

### ●教師の働き掛けや児童の様子

- ・日常的に，タブレット端末を使う場面を設定する。

### ●本レシピのワンポイントアドバイス

- ・子ども達は使えば使うほど慣れていきます。使いたい使いたいなくなり，道具の一つとして相対化させます。
- ・文字入力，ペンを使用しての手書き入力がやりやすいです。

### ★実践memo



5年生 社会科	単元（活動名）	自動車づくりにはげむ人々	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
  - ・ 自動車ができるまでの各工程で、ロボットや人がどんな作業を行っているか、友達とかかわりながら確認する。

- 利用する機能等
  - ・ ジャストマイルクラスの配信機能
  - ・ インターネットエクスプローラー

### ●活用の流れ

#### 【事前に】

- ①自動車メーカーのサイトの子どもを対象にしたページにアクセスし、ショートカットを作成する。
- ②作成したショートカットを1つのフォルダにまとめ、USBメモリに保存する。
- ③ジャストマイルクラスの先生用の配信機能を使い、クラスのフォルダに送っておく。

#### 【授業で】

- ④タブレットを起動させ、「みんなのフォルダ」から指定した自動車メーカーのショートカットをタップし、サイトを開く。（※今回はマツダのサイトを使用した。）
- ⑤自動車づくりの工程を、「ロボットか人か」の視点で順番に見ていく。（メーカーによって映像またはアニメーションで説明してある。）
- ⑥各工程がロボットか人かをノートまたはワークシートに記入させる。
- ⑦全体で確認していく。
- ⑧時間があったら、その他のメーカーのサイトでも確認させる。

- ・トヨタクルマこどもサイト  
<https://www.toyota.co.jp/jp/kids/>
- ・日産わくわくクルマランド  
<http://www.nissan-shatai.co.jp/KIDS/index2.html>
- ・日産バーチャル工場見学  
<http://www.nissan.co.jp/AREA/FUKUOKA/INFORMATION/virtual2.html>
- ・ホンダ車やバイクができるまで  
<http://www.honda.co.jp/kengaku/>
- ・マツダキッズミュージアム  
<http://www2.mazda.com/ja/about/kids/>
- ・三菱こどもクルマミュージアム  
<http://www.mitsubishi-motors.com/jp/social/contribution/kids/top.html>
- ・スズキこども質問箱  
<http://www.suzuki.co.jp/corporate/kids>

### ●教師の働き掛けや児童の様子

- ★4人で1つのタブレットを使用したがるが、みなで動画を見ることで、かかわり合いながら活動していた。
- ★本実践では、マツダのサイトを使用した。映像が出ることで、動画を開くウインドーの大きさがちょうどよいと感じたからである。授業のねらいや子どもの実態、授業者の好みで選択するとよい。

### ●本レシピのワンポイントアドバイス

#### 子どもの情報機器活用能力に応じて、臨機応変に

本実践では、事前に複数の自動車メーカーのサイトのフォルダを作成し、ジャストマイルクラスの配信機能を使用した。しかし、準備する時間や、子どもの情報機器の活用能力に応じて臨機応変に対応することも可能である。

- ①子どもに自動車メーカーのサイトを検索させる。キーワード検索でなく、ヤフーキッズ等のカテゴリ検索の方が早く検索できる。
- ②あらかじめタブレットを起動しておいて、インターネットエクスプローラーを開き、1台1台そのサイトにつなげておく。（グループだと8、9台くらいなのでそれほど時間もかからない。）

#### ★実践memo

5年生 理科	単元（活動名）	電流のはたらき	
	タブレット端末 活用の形態	教師が活用	

- 目的
  - ・回路のつなぎ方を確認する
  - ・NHK for School の番組を視聴する
- 利用する機能等
  - ・カメラ
  - ・インターネットサイト「NHK for School」

●活用の流れ

- ・電池1個を使った回路を、カメラ機能を使い、大型テレビに映し出す。
- ・回路をつなぐポイント（スイッチをあいだに入れる）を確認する。
- ・スイッチを入れてくぎを電磁石にくっつける。
  
- ・電池2個を直列つなぎにした回路を、カメラ機能を使い、大型テレビに映し出す。
- ・回路をつなぐポイント（直列つなぎ）を確認する。
- ・スイッチを入れて、くぎを電磁石にくっつける。
- ・電池1個のときよりもたくさんの釘が電磁石にくっついている様子（児童が調べている様子）をカメラで大型テレビに映し出す。
  
- ・NHK for Schoolの番組、クリップを視聴する。

●教師の働き掛けや児童の様子

- ・教卓の前に児童を集めて見せる従来のやり方よりも、児童が手元の教材を見ながら、回路をつなぐポイントを確かめることができていた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

**カメラの角度を変えて映し出す。**

- ・カメラの角度を変えて、回路を映し出すことにより、児童が回路のつなぎ方のポイントを理解することができた。

★実践した感想

5年生 理科	単元（活動名）	雲と天気の変化	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

●目的 ・ 雲の変化の様子を記録する。

●利用する機能等  
・ カメラ機能

●活用の流れ

- ①午前中の雲の様子を観察し、カメラ機能を使って記録する。
- ②グループごとに、午後の天気を予想する。
- ③午後の予想どおりの天気変わったか観察し、カメラ機能を使って記録する。
- ④予想を結果を比べる。
- ⑤記録した午前と午後の雲の様子を見比べ、雲の動きや様子から、その後の天気は予想できるか考える。



目印となる建物等と一緒に記録する

●教師の働き掛けや児童の様子

- ★雲だけを記録しようとする児童がいたため、必ず目印となる建物等と一緒に記録すること働きかけた。
- ★グループごとに、定点を確認しながら撮影しようとする児童が多かった。

●本レシピのワンポイントアドバイス

記録した画像から規則性を見つけさせる

- 記録した画像から、天気の変化には規則性があり、雲の量や動く様子からその後の天気を予想することができることに気づかせたい。
- 動画機能を併用することで、雲の動きの変化に気づかせることも可能である。

★実践memo

<b>5年生 理科</b>	単元（活動名）	<b>流れる水のはたらき</b>	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

●目的 ・ 屋外での実験・観察の様子を教室で繰り返し見て確認する。

●利用する機能等  
 ・ 内蔵カメラ動画撮影機能  
 ・

●活用の流れ

①教科書（5年理科）P93の写真で斜面を流れる水のはたらきの観察方法を確認する。

②観察する観点（上流・中流・下流の流れの速さや土の様子など）を示す。

③グラウンドに築山を作り、水を流してその様子を内蔵カメラで動画撮影する。

④教室でグループごとに繰り返し再生機能を用いて、視聴させながら、気付いたことを話し合わせる。  
 （必要に応じて大型テレビにつなぎ、動画を見ながら共有化する。）

⑤観察結果を記録させ、まとめる。



①動画撮影の様子



②繰り返し動画再生しながら、結果を記録していく。

●教師の働き掛けや児童の様子

★土と水を扱うため繰り返して実験、観察できず、また、築山全体が大きいいため視野が定まりにくい水の流れの様子を観察において、観察の視点を意識させる効果としてタブレットの動画撮影・繰り返し再生機能は便利であり、児童が興味、関心を持って観察に取り組むことができる。

★撮影した動画を大型テレビに投影することで、全体での共有化がしやすい。

●本レシピのワンポイントアドバイス

**効果的な観察動画を撮影することについて**

観察する観点をはっきりさせてから動画撮影を行うため、割りばしなどで目印となるものを設置しておく動画の視点がはっきりとする。

動画撮影時間を15秒前後にしておく、何度も繰り返し再生して検証するのに適度な動画の長さになる。

★実践memo

5年生 理科	単元（活動名）	流れる水のはたらき	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

●目的 ・ 流れる水の3つのはたらき（浸食・運搬・堆積）を実験から振り返る。

●利用する機能等 ・ ビデオ撮影・再生機能（コマ送り）

●活用の流れ

タブレットPCの活用場面  
 ・ 水を流したときの映像記録（ビデオ映像 約1分）  
 ・ グループごとに、変化の様子について映像を見ながら話し合う。

T「曲がった川の内側と外側では、水をたくさん流したときに、どんな変化が起こると予想しますか。」

C「内側に水がたまると思う。」  
 「水がにごると思う。」

↓  
 グループごと（6, 7人）で校庭に山を作り、S字型の溝（川の模型）を掘って水を徐々に増やしながら流す。水を流し出してからタブレットPCのビデオ機能を使って、流し終わるまで記録する。

T「実際に水を流したときの変化の様子をタブレットPCでコマ送りをして繰り返し確認しましょう。」

C「水が茶色にごっているね。」  
 「川の外側から水があふれているよ。」  
 「外側の方が土がけずられているね。」  
 「下の方（下流）に土がたまっているよ。」

T「流れる水には3つのはたらきがあります。地面を削り取るはたらき（浸食）や土を運ぶはたらき（運搬）、流れの緩やかなところに土が積もるはたらき（堆積）です。」



児童がタブレットPCで録画した映像



●教師の働き掛けや児童の様子

★ビデオ機能を活用することで、変化の様子を見て話し合うことができた。タブレットPCの大きな画面により、グループ全員で見ることができ、気になる所を繰り返し再生したり停止したりしてきちんと確認することができた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

・屋外に持ち出すときは、落下や水没防止のための対策（カバーを付ける、ビニル袋に入れるなど）を行う。  
 ・事前に、録画や再生（コマ送り）の技能を習熟させ、実験時にはスムーズに使えるようにさせる。

★実践した感想



<b>5年生 理科</b>	単元（活動名）	<b>台風の進路の予想</b>	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
  - ・ 台風の進路を予想するときに、考えをシートに書き、大型TVにグループ毎の考えを映すことによって、多様な考えをもとに予想することが
- 利用する機能等
  - ・ ジャストスマイルクラス 授業支援ツール（教師機）
  - ・ ジャストスマイルクラス ノート（児童機）

●活用の流れ

- ①児童機に、教師が作成したシートを配付する。
- ②グループ毎に、シートに考えを書き込む。  
グループ毎の考えは、リアルタイムで大型TVに映し出される。
- ③児童の立ち歩きを自由にする。考えをまとめる際に、他のグループの考えをヒントにしてもよいことを伝える。
- ④グループ毎の考えを発表し合い、「NHK FOR SCHOOL」で、台風の進路を確認する。



児童の様子



③大型TVの画面

●教師の働き掛けや児童の様子

- ★グループのメンバーで様々な考えを出し合い、ノートに分かりやすくまとめていた。
- ★他のグループの考えを見て、自分たちのグループのヒントにしている児童もいた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

**児童の考えを共有するための手立て**

グループのメンバーだけでは、考えがまとまらないこともある。また、他のグループの考えを参考にして、さらに良い考えが浮かぶこともある。児童同士の考えを共有するために、今回は、大型TVを使用した。考えがリアルタイムで更新されていくので、共有の手立てとして有効だった。さらなる活用方法を検討していく。

★実践memo



6年生 理科	単元（活動名）	月の形と太陽	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

●目的 ・月の形の見え方の変化と太陽の位置の関係を理解する。

●利用する機能等  
・NHK for School 電子黒板

●活用の流れ

- ・グループ1台ずつタブレットを配付する。
- ・NHK for School のサイトを開く。
- ・電子黒板 小6理科 月と太陽 月の形って？  
を開く。
- ・電子黒板の授業モードを使い、グループで学習する。

●教師の働き掛けや児童の様子

- ・タブレットの操作に慣れている子どもを中心にグループで協力した学習ができていた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

- ・グループとは別のタブレットを用意しておき、個別に使用できるようにしておく。

★NHK for school 電子黒板

<http://www.nhk.or.jp/school/dcontent/>

出典：NHK for school <http://www.nhk.or.jp/school/>

5年生 図工科	単元（活動名）	物語から広がる世界	
	タブレット端末 活用の形態	ペアで1台	

- **目的**
  - ・ 物語の読み聞かせの中から、自分で表現したいと思う場所を選んだり、確かめたりする。

- **利用する機能等**
  - ・ インターネットサイト「NHK for school」
  - ・ ポプラディアネット

● **活用の流れ**

- 【読み聞かせに使う場合】
- ①インターネットサイト「NHK for school」の「おはなしのくに」の読み聞かせにアクセスする。
  - ②二人一組で読み聞かせを聞く。  
→描きたい場面が決まった児童は、絵を描き始める。
  - ③終わりまで聞いた後に、もう一度確認したい場面があるときは、再度サイト内の読み聞かせにアクセスする。  
→必要な場面だけを繰り返し再生してもよい。
  - ④イメージが固まったところで絵を描く。
- 【ポプラディアを使う場合】
- ①児童に物語が書かれた紙を渡し、読ませる。
  - ②物語内に登場する生物や道具など、分からないものをポプラディアで調べ、イメージを固める。
  - ③順次、分からないものが出てきたら調べていく。



①実際の活動の様子



②使用したサイト

● **教師の働き掛けや児童の様子**

- ★タブレットでそれぞれが読み聞かせを聞くため、自分のペースで物語を確かめることができる。これにより、子どもたちは自分のお気に入りの場面を自主的に選ぶことができた。
- ★知らないものやイメージできないものをその場で調べることができるため、意欲を途切れさせることなく絵を描くことができた。

● **本レシピのワンポイントアドバイス**

**進度の違いに対応できる使用方法**

今回の使用法は、テレビを利用して一斉に物語を聞いた後に行ってもよい。その際に、欠席した児童がいたり、なかなか描き始められない（場面を決められない）児童に対して個別に対応できる使用法だと考えている。ただし、あまり長時間渡していると、調べたものや見たものをそのまま絵に描き始めてしまう児童が出てきてしまう。場面が決まったり、調べたいものが分かったりしたら、タブレットの使用は終了する約束をきちんとしてから使った方がよい。

- ★ 出典: NHK for school  
<http://www.nhk.or.jp/school/>

5年生 体育科	単元（活動名）	ダンス	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
  - ・ くりかえし再生し、練習に活用する
- 利用する機能等
  - ・ インターネット上の動画サイト

●活用の流れ

- ①教室，グループに1台タブレット配付，ルーター使用
- ②グループ毎の判断で，動画を視聴しながらダンスの練習をする



班毎に練習する様子

●教師の動き掛けや児童の様子

児童は，グループで話し合いながら自分たちのペースで動画を視聴しながらダンスの練習をしていた。また，動画内の模範演技は，自分たちと同じ向きの動画を選んだり，ゆっくり踊るものを選んだり，自分たちにとってより良いと思う動画を選択していた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

環境の設定

- ・ インターネットがつながる広いスペース…本実践は教室で行った。机椅子は廊下に出した。大きな動きがあるダンスではなかったため，30名6グループで行うにはほど良い広さであった。
- ・ タブレットを立てる…踊りながら動画を見るにはタブレットを立てないといけない。壁に立てかけたリイーゼルを活用したりした。床に落ちないように配慮が必要である。
- ・ 子どもたちの判断でタブレットを使用できる授業デザイン…タブレットを使用するのか，どの動画を選択するのか，どこで使うのか，子どもたちの主体的な判断で活用できるようにしたい。

★実践した感想

5年生 体育科	単元（活動名）	マット運動	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
  - ・自分の運動（腕立て側転・開脚前転）の様子をビデオ撮影し、客観的に見ることで、よりよい運動ができるようにする。
- 利用する機能等
  - ・動画撮影機能

●活用の流れ

- ① 腕立て側転、開脚前転をスムーズに行うためのポイントを全員で確認する。
- ② グループに分かれ、順番に腕立て側転（開脚前転）の様子を撮影する。
- ③ 自分の腕立て側転（開脚前転）のどこに課題があるかを見付け、練習のめあてを立てる。
- ④ めあてに向かって練習し、再度撮影し、課題が解決できたか確認する。



●教師の働き掛けや児童の様子

・今回、初めてタブレットを使ったので、操作をできるだけ簡単にし、撮影した動画を見て、自分の運動の改善点を見付け、練習の課題とすることに主眼をおいた。子どもたちは、すぐに操作に慣れ、自分の運動の改善点を見付け、意欲的に練習に取り組んでいた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

・動画を撮影するときの場所を定める。ズーム機能を使わない。などできるだけ、同じ角度、同じ大きさを撮影するようにする。  
 ・タブレットの設定で、デスクトップ画面から「カメラ」を起ち上げ撮影し、「カメラフォルダ」から再生しようとする再生できなかったため、復元機能をオフにして「WMV」ファイルの属性を「Windows Media Player」にすることで、簡単に再生できるようにした。

★実践した感想

5年生 学級活動	単元（活動名）	2学期の振り返りをしよう	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
  - ・意見を出し合い，考えを広めたり深めたりして作文を書く。
- 利用する機能等
  - ・ジャストスマイルクラス＜デジタルノート・授業サポーター＞
  - ・大型テレビもしくはプロジェクター

●活用の流れ

- ①2学期の行事や学習内容を振り返り，黒板に板書していく。
- ②行事を1つ取り上げ，全員で振り返りを行う。初めに良かったことを「ジャストスマイルクラス」の「デジタルノート」に書いて提出させる。
- ③全グループの記述を見合う。他グループの振り返りに触れることで，考えを広げたり深めたりしていく。
- ④同様に，改善したいことについても振り返りを出して見合う。
- ⑤よく思い出して考えながら振り返りをすることを確認したら，以降は一人一人がワークシートに振り返りを書いていく。
- ⑥できあがったワークシートをもとにして，作文用紙に作文を書く。全てを書くのではなく，必要なものを選んで書くようにさせる。



②デジタルノートに書き込む



③全グループの記述を見合う

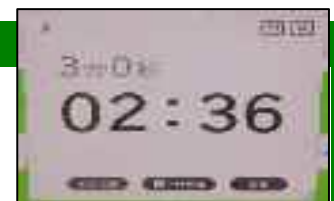
●教師の働き掛けや児童の様子

- ★思いついたことを思いついたままに作文に表していく児童が多い。じっくりと考えてから書かせるために，振り返りの仕方をタブレットを使って押さえていった。
- ★他グループの振り返りを見ることで，忘れていたことを思い出したり，自分とは違った考えに触れたりして，より広く深い振り返りができるようにした。

●本レシピのワンポイントアドバイス

タイマー機能を使用して時間を提示する

「授業サポーター」の「授業ツール」についているタイマー機能を活用した。作業の時間を提示することで，児童は見通しを持って各活動に取り組むことができた。



★実践した感想



各学年 音楽科	単元（活動名）	楽器練習における視覚化	
	タブレット端末 活用の形態	教師が活用	

●目的 ・ 楽器や演奏の様子などを大きく映し出し、児童の理解を支援する。

●利用する機能等

- ・ カメラ, Windows Media Player
- ・ ジャストスマイルクラス「マーカー」「くらべる」

●活用の流れ

●下学年向け

- ①用いる楽器(鍵盤ハーモニカ, リコーダー等)の全体がはっきりと映っている写真を撮影する。
- ②タブレットの画面をテレビに映し出し, テレビ画面上の楽器に指を置きながら説明する等, 児童の動きと同じ動きを示す。
- ③必要に応じて, 「マーカー」で, 基準となる位置等に, 画面上に印をつける。

●上学年向け

- ①優秀な児童の演奏の様子(指の動き等)を動画で撮影する。
- ②タブレットの画面をテレビに映し出し, 段階別練習等において, 必要な児童をテレビの前に集め, 真似させながら練習させる。
- ③必要に応じて, 「Windows Media Player」の再生速度変更機能を用いて, 速度を落として練習させる。



●教師の働き掛けや児童の様子

手元の楽器と同じものを見ながら練習できるため, 一斉指導で十分に習得できる児童の割合が増える。教えあいを促したり, より個別指導に重点を充てたりすることができる。

撮影する写真・動画は, 児童の手元の見え方に考慮し, 向きや角度を工夫して撮影するとよい。

●本レシピのワンポイントアドバイス

ジャストスマイルクラス「くらべる」を使うと, パート混合練習や, 複数グループに分かれての練習に応用することができる。パートごとの動画を, スタート位置を合わせて同時再生することで, それぞれの児童が自分の該当するパートの演奏を確認しながら, 同時に演奏することができる。また, 別々に再生することもできるので, タブレットの台数が少ない場合でも, 習熟度ごとのグループに1台ずつ渡して, それぞれのペースで練習させることができる。

★実践memo



4～6年生 体育	単元（活動名）	技を大きな動きで（マット運動）	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

●目的 ・側転や跳び前転などのマット運動の技を、大きな動きできれいにできるように練習する。

●利用する機能等

- ・カメラ
- ・カメラフォルダ

●活用の流れ

①NHK for school 「などのサイトで、側転のお手本フォームを見る。

②班でカメラ係を交代しながら、側転の様子を動画撮影する。

③自分の番が終わったらすぐに動画でフォームをチェックし、次の練習で気をつけるポイントを話し合う。

※マット運動だけでなく、跳び箱運動や鉄棒運動、高跳びなど、体育のどんな活動でも活用することができる。



①側転の様子を動画撮影



②班で、話し合っている様子

●教師の働き掛けや児童の様子

- ★ローテーションで、列の次の児童が撮影するようにさせた。
- ★「やっぱり足が曲がってる！」など、自分の様子を動画で見た児童は、練習ポイントが一目瞭然であったようだ。
- ★タブレットの操作に特に戸惑うことなく、教え合いながら使っていた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

### 撮影してすぐに自分の動きをチェックする

カメラでの動画撮影が終わると、撮った動画は自動的に繰り返し再生される。これを生かして、撮影した児童と一緒に動画を見ながら、次の練習で気をつけることを話し合うことができる。さらに「ジャストスマイルクラス」の「くらべる」機能で、上手にできている友達の側転と見比べることも可能である。

★実践した感想